

社会福祉法人報恩良友会 ケアハウス「ロータス桑野」発行
岡山市中区桑野 486-12
TEL 086-276-9801

ひろば

vol.193

ひろぎ
河村隆司先生 施設長 中島 聖恵

お能について私は予備知識もなく、それまでに鑑賞したことすら全くありません。友人に誘われて習い始めたものの、私に合っているのか、古典芸能に足を踏み入れ、時代に逆行しているのではとか、不安や迷いが心の中に渦巻いていました。ところが、習い始め、稽古を重ねるうちに、時代に逆行するどころか、煩雑な日々の生活の中にあつて、心を鎮め、集中し、雑念を追い払ってくれるお仕舞は、すっかり私の心を捉えてしまいました。試験中でも熱心に、特に徹夜で勉強しなければならぬぐらい追い詰められているときほど通いました。

あるときから、先生の勧めでお話にも習う事になりました。お話の稽古は先生のご自宅へ伺います。例によって一番に稽古をして頂くとうと、始まる時間より早めに行きました。先生は待っていましたとばかり、「よく来ましたな、はい玄関から門まで掃いて下さい」五、六メートル位なところを掃き終わると「どれどれ、うん、きれいに掃けたな。次は窓拭きをしてもらおうかな。窓拭き用スプレーに雑巾、それからゴムベラ、みんな揃っているから、坪庭に面した廊下のガラス戸の掃除してください」先生はそう言いおいて、どこかへ姿を消してしまわれました。私がスプレーを窓ガラスに吹きかけ雑巾で拭き、格子の棧の角のところがどうしてもきれいにならないので悪戦苦闘していると、急に何処からともなく現れ、「あんたは下手やな、何にも知らないんやな。雑巾を使う前に、こうしてスプレーを吹きかけゴムベラで棧に沿ってきちんと角、角をきれいにして、後雑巾で磨いて仕上げるのや、ど

うや、きれいになったやろ。さあ今度は廊下と畳、ほらほら畳は畳の目に沿って拭いて」といちいち細やかに指図をしながら、廊下に面したお稽古の間の掃除まで、丁寧に少しの妥協もい加減さも許さない、それでいて厳しいという感じはなく、手取り足取りきちんと教えて下さいました。「ああ、きれいになったな。それでは稽古を始めよう」。稽古が始まると、お能に向き合われる真摯なお姿の先生が私の目の前に座しておられました。

私はお話の稽古に来たのに、掃除が綺麗に行き届いている家にも拘らず次々と掃除を命じられる。とにかく先生が仰ることに何を言われようと、「はい、はい」と私は従っていました。「あんたは何にも知らないな」と先生からいつも言い、言いされてしまったので、当時の私は「この人はなんくんにも知らない、能天気もいいところ、大丈夫かな」という風に先生の目に映っていたのだらうな、ご心配をおかけして本当に申し訳なかったなと、つい今しがたまで思い込んでいました。それにしても先生は何故一から十まで改めて掃除をするようにおっしゃられたのでしょうか。今振り返りながら原稿を書いていて、どこまでも自分勝手な自分にハツとしました。先生がなさることにきつと深い意味があるに違いありません。稽古が始まった途端、先生が非常に大切にされようとするものに向き合われている様子が見え、ひしひしと感じたからです。稽古の時、ご自宅は自宅であつても自宅ではない、能楽堂と同じに、神聖で清浄な場、その神聖な場をしつらえるお手伝いを、私はさせていたのだと気付いた瞬間、無上のありがたさと喜びが込み上げてきました。



川柳

「便り」

元気だよ一言で足る子の便り
古き友便り来たけど顔忘れ
便りよりマメな笑顔で親孝行
いい人ができたと風のたよりあり
メールからラインに変わる友便り
遠き友久々に来る便りかな
受験どき悲喜こもももの便りかな
時々気ままに便り友に書き
ご無沙汰を賀状で便り詫びている
若かりし便り今だに箱に居り
酒に添え便りをよこす愛娘
応募して便り待つけど返事なし
お正月年賀の笑顔玄関に立つ

八重子 佐千子 なか 厚彦 菊江 久子 聖 初江 初音 和夫 秀子 金蚤 緑

そうかもね便りないのがよい便り

読者より

久さかたの孫の来訪今朝の春

よしか

政子

二月の行事予定

五日(月)	一四時	押し花
八日(木)	九時三〇分	餅つき
一三日(火)	一四時	エステ
一七日(土)	一五時	親睦会
一八日(日)	午前中	散髪
二〇日(火)	一四時三〇分	お花教室
二一日(水)	一〇時過ぎ	買い物
二二日(木)	一四時	川柳「風」
二七日(火)	一四時	食事会
	エステ	



初詣

沖田神社



とんど焼き



二月の

お誕生日

おめでとうございます

ございます



おひさしぶりで〜す